



University of Tsukuba
Art and Design

Study Abroad Handbook



Internationellt utbyte

Trao doi quoc te

Échange international



International Exchange

筑波大学
芸術系

留学 ハンドブック



国際交流

ホームページ
筑波大学芸術系
国際交流



海外留学×国際体験のススメ

社会はより一層のグローバル化が進み、国や地域を越えた真にトランスポーダーな世界へと移行しつつあります。私たちは、全国各地の歴史や文化、多様な宗教や思想が共存しているこの世界において、自らの考えや想いを表現し、活躍できる場と方法を模索・発見していかなくてはなりません。そのために、大学生時代に海外留学をはじめとする国際体験は、それまでの日常からは異なる環境に身を置き、豊かで刺激的な体験を得て、国際人として飛躍するきっかけとなる、その後の人生にとって大きな糧となることでしょう。

特にアートやデザインの創造・制作・研究を志す皆さんにとっては、ユニークな自己表現と問題意識を発見し、そのアクションの原動力となる独自の視点、哲学、思想、そしてそれらにアプローチし表現するための手法や技法を獲得することが不可欠です。日常習慣と環境を大きく変えて、様々な刺激と新たな社会関係を築くことになる国際体験は、自身の殻を破り弾け出るための貴重な機会となるはずです。

世界の多様性を知るための挑戦は、同時に自らのアイデンティティーを探究する行為でもあります。皆さんは「地球人」でありつつ「ユニークな個としての存在」なのです。皆さんが「アーティスト、デザイナー、アーキテクト、リサーチャー」として大きく前進し、人生を変える程の気づきとインパクトに出会うために、国際的な学びの場へと飛び込んでいかれることを強く期待します。

筑波大学芸術系 国際戦略委員会

この冊子では、芸術系学生を対象とした協定校の魅力と芸術系による一括公募について紹介します。筑大生のための留学に関する全般的な情報は「スチューデントサポートセンター国際交流支援室（学生交流課）」が提供しています。留学に関する基本情報は常に更新されていますので、以下のウェブサイト等で確認してください。

スチューデントサポートセンター国際交流支援室（SSC）ウェブサイト

海外留学基本情報



スチューデント・コモンズ 留学相談など



留学のための 奨学金情報



常設イベント ライティング・ヘルプデスク 各種チャットイベント 留学フェア



海外留学情報誌 Go Abroad!

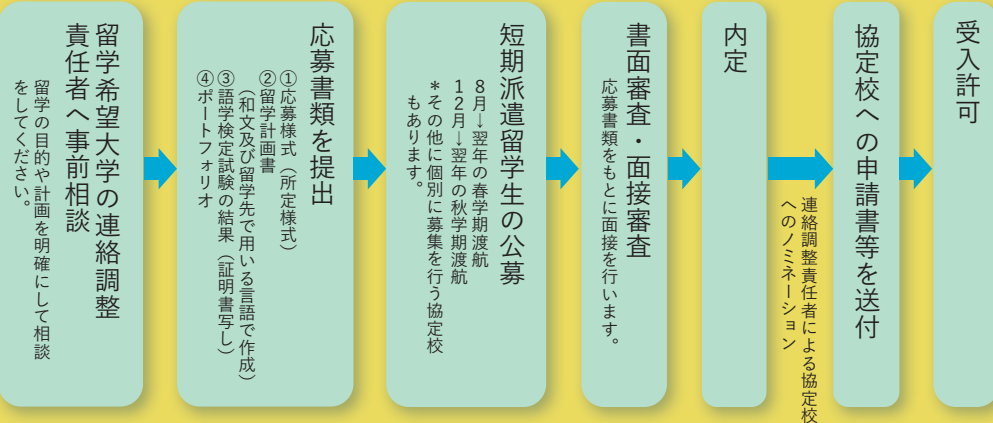
留学情報のバイブル、
必読書!!



留学までの流れ

留学をはじめとする海外渡航の実現までには、最低でも1年以上の準備が必要となります。協定校への交換留学の募集は、年に一度しかない場合がほとんどですので、チャンスを逃さないように調整責任の教員と相談をして情報収集をしてください。

公募情報は筑波大学芸術系「国際交流」のホームページに掲載されます。



国際協定校

赤字：芸術系の部局間協定校

紫字：全学の協定校のうち芸術系と関係の深い大学

本冊子紹介協定校

紹介番号	協定校	国名	筑波大学協定元	連絡調整責任者（芸術系）
1	フィレンツェ国立美術学院	イタリア	芸術系部局間協定	星 美加
2	ストラートデザイン大学	フランス	芸術系部局間協定	小山 慎一
3	ミラノ工科大学	イタリア	大学間協定（芸術系主管）	李 昇姫、加藤研
4	バルセロナ大学	スペイン	芸術系部局間協定	山本 早里
5	プランデンブルク工科大学 (コットブス・ゼンフテンベルク校)	ドイツ	大学間協定（芸術系主管）	上北 恭史、池田真利子
6	アイントホーフェン工科大学	オランダ	芸術系部局間協定	李 昇姫
7	デルフト工科大学	オランダ	芸術系部局間協定	李 昇姫
8	スウェーデン王立美術大学	スウェーデン	芸術系部局間協定	田島 直樹
9	ヘルシンキ芸術大学美術アカデミー	フィンランド	芸術系部局間協定	田島 直樹
10	国立工業工芸大学（パリ工科大学）	フランス	芸術系部局間協定	大友 邦子
11	韓国科学技術院	韓国	大学間協定（芸術系主管）	李 昇姫
12	弘益大学校	韓国	大学間協定（システム情報系主管）	橋本 剛
13	国立台湾科技大学	台湾	芸術系部局間協定	山田 協太
14	国立台湾芸術大学	台湾	芸術系部局間協定	菅野 智明
15	ホーチミン市美術大学	ベトナム	芸術系部局間協定	武田 一文
16	中央美術学院	中国	大学間協定（芸術系主管）	小山 慎一
17	中国美術学院	中国	芸術系部局間協定	菅野 智明
18	ユタ州立大学	米国	大学間協定（生命環境系主管）	McLeod Gary Roderick

※連絡調整責任者は適宜更新されますので、芸術系「国際交流」のウェブサイトにて最新版を確認してください。

また、全学対象協定校への交換留学の公募（SSC公募型）については右のウェブサイトを随時確認してください。

全学対象協定校への海外留学の公募について →



01

フィレンツェ国立美術学院 Academy of Fine Arts of Florence



ACCADEMIA DI BELLE ARTI DI FIRENZE

URL: <https://www.accademia.firenze.it/>

住所: Via Ricasoli 66-50122 Florence, Italy

規模: 学部=9コース 大学院=6コース

連絡調整責任者: 星美加

◆芸術系一括募集校



イタリア最古の美術大学

フィレンツェ国立美術学院は1563年ジョルジョ・ヴァザーリによって創設されたイタリアで最も古い伝統のある美術学校です。学部は、絵画、装飾芸術、彫刻、版画、舞台美術、インテリアデザイン、グラフィックデザイン、先端芸術表現、博物館学の9コースがあり、大学院には先端言語表現、絵画方法論、イラストレーション、展示計画、舞台美術計画、キュレーション／芸術教育の6コースがあります。隣接している付属美術館（アカデミア美術館）には、ルネサンス期を代表するミケランジェロの作品「ダビデ」像をはじめ多くの名作が展示されています。また、フランコ・ゼフィレリ（映画監督）ジョバンニ・ファットーリ（画家・版画家）などイタリアの芸術界を代表する著名な芸術家も多く輩出しています。

授業は、基本的にイタリア語で行われますので、渡航前にイタリア語のレベルがある程度必要となります。年間2名の交換留学を予定しています。

留学体験談

様々な芸術活動への挑戦、発見と学び

私は絵画コースの授業を一年間受けました。絵画コースでは、絵画、絵画技法、英語、イタリア美術史などの授業を取りました。英語で行われる授業はほとんどなく、ほぼイタリア語での授業だったので大変でした。しかし、放課後はボランティアのイタリア語学校に通っていたので、だんだんイタリア語を理解できるようになり、話せるようになっていきました。イタリア語を理解し話せるようになると、友人や先生のアドバイスなどを聞き取れるようになり、自身の制作に還元できるようになっていきました。絵画の授業は主に裸婦を描く授業で、そのほかに自主制作も行っていという自由な授業でした。絵画技法の授業では、水彩テンペラ、水彩画を主に制作する授業で、他にポーバリ庭園に赴きスケッチする等、美術館で先生が作品について説明する授業もありました。英語、イタリア美術史の授業は先生が講義するスタイルの授業で、試験はペーパーテスト、口頭のテストがありました。口頭テストはイタリア語で話さなければならぬので、ここでもイタリア語が話せること、コミュニケーションが取れることが必須でした。

学外での活動は、ミラノ、ローマ、ヴェネチアなどの有名なイタリア都市や主にトスカーナ地方の街をめぐり、美術館や博物館に足を運びました。イタリアでは都市や街ごとに、雰囲気や歴史が異なり、その地ならではの文化、芸術があるので、様々な地方に訪れてみるのもいいと思います。また、その他にミラノ日本領事館で個展を行うなど、モデナ近郊の街のスピランベルトではフェスタ・ディ・

ジャッポーネという市が運営するイベントで絵画の展示、能のパフォーマンスを行いました。このように個人の芸術活動としても様々なことに挑戦できたので、良い留学生活を送ることができました。

私はこの留学生活を通して学んだことで特に大切だったと思うことが2つあります。一つ目は、人と人とのつながりの大切さです。何か自分がやりたいと思ったときにそれを、応援してくれる人や、最良の機会を与えてくれる人とつながることで、そのやりたいことが実現できることがあるからです。また、他者に対してもよい機会を与えるような人に己自身になることで、さらにできることやつながりが広がります。二つ目は、自己プロデュース力を養うということです。自己プロデュースとは自分自身がどのような活動をしているか、どのようなことができるかなどを相手（何かを主宰、求めている側）に見せて、売り込んでいくという力です。この力を養うことで、活動の幅を広げられ、さらに異なる文化の中で自分の在り方を探ることができるようになりました。

このようにイタリアでの留学生活では、様々な発見や学びがありました。異文化に触れることで新たな価値観に出会い、思考の幅が広がります。留学を考えているけど、一歩踏み出せない方や、悩んでいる方などは是非短期間でも留学に行ってみることをお勧めします。

美術専攻洋画コース 洞口智香
留学期間：2017.9-2018.8(学群2年次)



留学体験談

傑作を通じた理論の学びと対話を通じた制作実践

フィレンツェ国立美術学院への留学を希望したきっかけは、西洋絵画の古典技法に興味を持ったことでした。実際に行ってみると、想像よりも遙かに自由な学びの場であることに驚きました。授業は、体系的な指導が行われるというよりも、自ら目標を設定して進めていくことが求められました。自由であるために物事が上手く進まない場面にカルチャーショックを受けることもありましたが、与えられた課題をただこなすのではなく学びを発展させる能動的な姿勢で取り組むことができました。

絵画技法の授業では、テンペラと油絵の古典技法に関する理論と実践を学びました。イタリアでこれらの技法を学ぶことの醍醐味は、美術館で実際に傑作を鑑賞できることです。筆致やマチエール、作品の纏う空気を直接感じることで、授業で学んだ知識や技術に関してより説得力を持って理解を深めることができました。

一方で、絵画演習の授業では、それぞれが独自にテーマを決め、作品制作を行いました。印象的だったのは、作品に用いられる技法以上に、作品の意図、何を描くか・何故描くかが重要視されたことです。制作途中で先生と面談を重ね、自分の中にある考えをアウトプットすることにより、思考を整理しながら制作に着手することができました。

この2つの授業のアプローチは一見対照的とも

思いましたが、技法と構想の2つの視点を行き来することで、思考の幅を広げて作品を制作する意識に繋がりました。

また、専門分野に関する学びだけでなく、人との関わり方について深く考えさせられたことも留学の貴重な経験となりました。イタリアは察するよりも直接言葉にして伝える文化であるため、言語や価値観の壁にぶつかり、言葉で通じることの大切さを実感しました。一方で、助けてくれる友達に会い、言葉を超えた人の優しさに救われることも多くありました。

イタリアでの1年間はとても刺激的でした。異文化に身を置くことによって新しい価値観に触れ、今まで当たり前だと思っていた価値観に気づきました。そして、新たな考え方を得たり、反対に自分の変わらない部分・変えたくない部分を再認識することができたのはかけがえのない経験でありました。今もなお数々の歴史的美術作品や建築が残る空間に身を置き、生活の中で感じ取るものは、旅行で得られる経験とは代え難いものです。実際の暮らしの中で、その土地の文化を感覚的に理解して学びに向かうことができるのは、留学の大きな魅力だと思います。

洋画領域 伊藤ひよし

留学期間：2022.10.-2023.6. (学群3年次)

02

ストラートデザイン大学

Strate School of Design

strate
SCHOOL OF DESIGN

URL: <https://www.strate.education/>

住所: 27, avenue de la Division Leclerc

92310 Sèvres, France

連絡調整責任者: 小山 慎一

◆芸術系一括募集校

世界トップ60の デザインスクール

ストラートは、1993年にパリ郊外に設立されたデザイン教育を専門とする新設大学で、フランス初の私立大学です。フランスにおけるGrande Ecoleと同様の教育課程として認められていて、ビジネスウィークがまとめた世界のトップ60のデザインスクールや、ミラノの有名なデザインスクールであるDOMUSアカデミーが選



んだヨーロッパのトップ50のデザイン大学に選ばれています。また、2015年に正式にFrench State University(フランス共和国の大学)として認められた高等教育機関となりました。

フランスの大学では極めて珍しく、英語での修士課程レベルのプログラムとしてTransportationとSmart Citiesがあり、これら

のコースには英語での受験が可能です。フランス語のカリキュラムはモデリングや革新的デザインなどもあります。校舎はパリ郊外のセーヴル陶磁器美術館の近くの閑静な区域にあり、モンパルナスまで20分ほどです。

<https://www.strate.education>

<https://www.strate.design>



URL: <http://www.hongik.ac.kr/>

住所: Piazza Leonardo Da Vinci,
32, 20133 Milano

Tel: +39 02 2399 2008

連絡調整責任者: 李昇姫

◆芸術系一括募集校



ノーベル賞・プリツカー賞 受賞者を多数輩出

ミラノ工科大学は、イタリア北部ミラノに本部を置く国立大学。1863年に創設され、150年以上の歴史をもつ名門大学です。イタリアをはじめ、世界各地で活躍する著名な芸術家、建築家、デザイナー等を輩出しており、デザイン工学分野で世界トップクラスの教育機関となっています。Enrico Forlanini（発明家、航空工学）、Giovanni Battista Pirelli（工学、タイヤメーカー Pirelli の創業者）、Giulio Natta（科学者、1963年ポリプロピレンの合成でノーベル賞受賞）、Renzo Piano（建築家、プリツカー賞受賞）、Aldo Rossi（建築家、プリツカー賞受賞）などの卒業生がいます。学部には約38,000名、大学院には1,900名ほどの学生が在学し、研究者（PhD）と教員は約1,400名が在職しており、留学生は世界各国から集まります。筑波大学からは、2014年度より短期留学生を派遣しています。

留学体験談

留学したからこそ感じられたもの

1年生の春休み、建築を見に初めてヨーロッパに旅行に行きました。そこでたくさんの優れた建築と出会い、その頃から、ヨーロッパで建築学生をしてみたい、建築教育を見てみたい、という気持ちが生まれました。その気持ちを現実にするため、筑波大学の交換留学制度で、3年生の夏から半年間、イタリアのミラノ工科大学に留学しました。

ミラノ工大では、建築史の授業と設計の授業を履修しました。筑波大の授業と比べて授業時間が長く、一つの授業が週に2回で3-4コマ程度の時間でした。建築史の授業は、古代から近代までのヨーロッパ建築史を習いました。面白かったのは、講義の他に、現地見学として、街中の教会を見ながら、建築様式などを学べたことです。街中に西洋建築史のエッセンスが詰まった事例がたくさんあることが新鮮でした。

設計の授業では、講義とエスキースが交互にあり、事例の紹介を通して設計の思考を講義で学びながら、エスキースで設計を詰めていくという、理論と実践の2つの面から設計課題に向き合うことができました。

講義の事例には、日本の建築家の作品も出されたこともあり、日本の建築が一目置かれていることも知りました。また、建築の事例だけでなくアート作品・都市計画・ランドスケープなど、幅広い事例が出され、建築家の神経や興味は幅広くあるべきだという考えが伝わってきました。

また、授業がない日は、スキを見つけるにはヨー

ロッパの国々を旅行して、建築をはじめとして、いろいろな風景や文化、人々と出会うことができました。

一方で、建築と関係ないところで、イタリアそのものを好きになりました。それは、出会ったイタリア人の性格や、文化芸術を尊重する社会が、尊敬するに値するものであったからです。留学して現地で暮らすことで、旅行するだけではわからなかったイタリアの顔を見ることができました。

このように、留学して学んだこと、感じたことの収穫は多く、留学して本当に良かったなと思っています。もちろん、留学中の生活はいいことだけではありませんでしたが、それ以上のものが得られたと思っています。

皆さんも、機会があれば是非留学を考えてみてください。奨学金や現地の情報は、筑波大のいろいろなつながりを活用すれば、心配ないと思います。最後に、体験レポートを読んでいただきありがとうございます。

デザイン専攻 染谷美也子

留学期間：2018.8-2019.3（学群3年次）

URL: <http://www.ub.edu/>

本部住所: Gran Via de les Corts Catalanes,
585, 08007 Barcelona, Spain

芸術学部: Facultat de Belles Arts: carrer Pau
Gargallo 4, Barcelona, Spain

総合大学: 19学部 64コース、大学院:138修士学位プロ
グラム 71博士学位プログラム

連絡調整責任者: 山本早里

◆芸術系一括募集校



バルセロナの総合大学

スペインバルセロナの総合大学で、スペインの中でも最高位の大学です。大学のキャンパスは市内に分散しており、芸術に関するキャンパスはバルセロナ西部で、FCバルセロナの本拠地のすぐ近くです。

交換留学の協定は部局間協定で、Faculty of Fine Arts 芸術学部の学部（学群）レベル及び大学院レベルで締結しています。芸術学部には、Drawing 学科、Design and Image 学科、Sculpture 学科、Painting 学科があります。カリキュラムはホームページなどで確認してください。

授業は基本的にスペイン語で、留学生には英語で行われることもあります。スペインの中でもカタルーニャ地方に属しているためカタルーニャ語もよく使われています。留学生は意思疎通のために英語は必須ですが、スペイン語もある程度できる必要があります。交換留学出願時に、英語はCEFRのB2以上、スペイン語はA2以上が求められます。また、カタルーニャ語も現地に行って学ぶとよいでしょう。本校の留学の前に現地で語学学校に通うことが多いようです。

バルセロナには多くの美術館があり、街中にも多くの作品があります。温暖で過ごしやすい気候です。

留学体験談

毎日飽きることがない街、バルセロナ

バルセロナ大学はスペインのバルセロナの中心地にある大学で、空港からも近く比較的都会です。大学の周辺は他の大学も多くバス、地下鉄、トラムなどの交通の便がとても良いです。自然も多く存在していて海もあり、綺麗な地域です。現地の授業は1授業の生徒の人数があまり多くなく（20人～30人程度）1人1人面倒を見てもらえます。優しい先生が多く、生徒も協力的で穏やかな雰囲気ですが授業がスペイン語なので留学の際はスペイン語を学んでから行くことをお勧めします。他の留学生はスペイン語圏（主に中・南米）からの留学生が多いのでスペイン語を話せる方が多いですがヨーロッパからの留学生など英語を話す方もいますので、英語を勉強して行っても良いと思います（2019年当時より現在は語学力に大使で厳しくなっています）。アジア人はほとんどいません。バルセロナは晴れの日が多く食べ物も美味しい、街の交通が発達しているため住みやすい地域です。美術館や博物館も多いです。大学の周りには公共機関や公園が多いですが少し歩くと繁華街やサグラダファミリアなど観光地があり毎日飽きることのない街です。バルセロナの人は基本的に観

光客に慣れているため優しいですがスリや軽犯罪も多いので注意が必要です。生活自体にはスーパーや生活必需品を売っている店も多く存在し、24時間交通の便があるので困りません。ヨーロッパの都市の中では比較的生活費は安く、月8万円ほどで暮らせますが、基本時にピソ、シェアハウスが多いです。バルセロナのあるカタルーニャ地方は独立運動が盛んなのでそう行った運動や文化に興味がある方にもお勧めですがデモの際は危険なこともあるので気をつけてください。

英語以外の言語を学んでみたい、ヨーロッパの各地域にアクセスの良い場所が良い、都心だけど緑のあるところに住みたい、ご飯が美味しい地域がいいという方にはとてもお勧めです。スペイン語を学ぶことでヨーロッパだけでなく南米の友人も多くできたので嬉しかったです。都心ですが小さい眺めのいい山や、綺麗な海がありサイクリングなどもしやすいです。

構成専攻 須賀さりあ

留学期間：2019.2-2019.6（学群3年次）

05

ブランデンブルク工科大学

コットブス・ゼンフテンベルク校

Brandenburg University of Technology
Cottbus-Senftenberg

b-tu

Brandenburgische
Technische Universität
Cottbus - Senftenberg

住所: Konrad-Wachsmann-Allee 1
03046 Cottbus, Germany
URL: <http://www.b-tu.de/en/>
交流開始: 2007年
連絡調整責任者: 上北恭史、池田真利子
◆SSC公募型



世界初の世界遺産専攻を擁する工科大学

ドイツブランデンブルク州にある2番目に大きな大学で、旧東ドイツ地区の経済、産業発展を担うブランデンブルク州唯一の工科大学です。環境、エネルギー、材料、情報技術を中心とした専門に特化していますが、世界遺産専攻など学部組織を超えたユニークな大学院を複数立ち上げ、EUにおける先進的教育モデル校として位置づけられています。

ブランデンブルク工科大学コットブス・ゼンフテンベルク校建築・土木・都市計画学部大学院修士課程世界遺産専攻は、1991年に設立された世界で最初の世界遺産の保護に関わる専門大学院であり、本学の修士課程世界遺産学学位プログラムの設立モデルでありました。このプログラムは同大学に設置された、英語で授業を行う学際プログラムのうちのひとつです。

本学世界遺産専攻と世界文化遺産学学位プログラムは、ブランデンブルク工科大学建築・土木・都市計画学部と交流協定を2007年に締結し、継続的に大学院生と教員の交流を行っています。



留学体験談

国際感覚と思考力の習得体験

私はブランデンブルク工科大学の World Heritage Studies Program に約1年間留学しました。その専攻には、世界各国から様々な専門分野の学生が集まっていて、年齢も幅広く、授業を通して多くの学生と交流しました。

どの授業でも必ずグループワークがあり、様々な学生と意見交換を行う中で、皆国籍も異なるので色々な考え方を知ることができ、とても多くの刺激を受けました。また、欧州と日本で遺産の形態が異なることから、保護の方法も異なり、授業の中でその話を聞くことができ、とても面白かったです。また、現場で活躍している方々が外部講師として話をしてくださることもあり、どの話とも興味深いものばかりでした。

留学中には Cottbus Open というイベントで、各国の学生が自国の料理を提供し、食文化を紹介する

機会があったので、私も参加し、日本食を広める活動をしました。試作段階では様々な国籍の友人を呼んで、意見交換もしました。友人を含め多くの人に日本食を知ってもらった良い機会になりました。

留学生活の終盤には、ポーランドのクラクフで行われた世界遺産委員会に参加し、そこで BTU の世界遺産専攻の学生と筑波大学の世界遺産専攻の学生の交流会が行われました。学生の派遣だけでなく専攻間での交流ができたことはとても嬉しく思いました。

ドイツで1年間留学できたことはとても良い経験になりました。留学を許可して下さいった先生方と快く送り出してくれた友人、両親に感謝しています。

世界遺産専攻 長谷川千紘
留学期間: 2016.10-2017.09 (博士前期課程2年次)

URL: www.tue.nl住所: De Zaal 5612 AJ Eindhoven
The Netherlands

Tel: +31 (0)40 247 47 47

提携開始: 2008年6月

提携部門: 感性情報、感性デザイン、
情報デザイン、プロダクトデザイン

連絡調整責任者: 李昇姫

◆芸術系一括募集校



オランダデザイン工学の トップスクール

国際化と融合科学（電子、脳、医学、ロボット工学など）による大学評価が著しく高く、現在デザイン工学分野はオランダ国内第1位である。デザイン工学分野は、2000年より電子技術の導入と共に、世界的な企業との産学連携プロジェクトを中心に、教員、研究者、学生との教育ネットワークに企業デザイナーとの協力体制のもとで実施されています。

アイントホーフェン工大は、オランダのみならず EU 最大のデザインイベントである Dutch Designers' Week の開催地でもあります。近隣の世界的企業である Philips、芸術系大学の Design Academy との協力体制でそのイベントをリードする役割も担っています。

博士後期課程は、大学から給料が支払われる研究員制度があり、教員採用水準で選考される。学生への指導が行き渡っていることに定評があります。

留学体験談

人の生き方を尊重する自由で文化的な大学教育

私がオランダのアイントホーフェン工科大学を留学先として選んだのは、この大学が一つの授業において非常に高い質を持っていることに魅力を感じたこと、そして EU で最も住みやすい国とされるオランダの文化と人々に興味があったからだ。

この大学では学生が好きな授業だけに興味を絞れるようすべてが選択制の授業で、また、半年で5科目しか履修できないようになっている。その5つのうちの一つで、半年で一つ行う「プロジェクト」と呼ばれるものは特に重要だった。担当教員は学生と毎日数時間に渡りコミュニケーションをとりながら、課題の発見、解決、そのプレゼンテーション方法までを共に模索していく。担当教員はただ答えを導き出すだけでなく、学内にいる他の学生や、他分野の教授、クライアントなどを私に紹介してくれ、オランダでは全くの他人であった自分に多くのチャンスを与えてくれた。

大学だけではなく、オランダという国には他人と違うことを受け入れられる文化があることも大きかったと思う。EUの中でも移民が多いオランダで

は、ほとんどのオランダ人が英語を流暢に話し、多くのメディアが英語を使っている。その理由は、オランダのような小さい国は、周りと共存しないと生きていけない、ということをオランダ人自身が自覚しているかららしい。また、この国は同性愛者が多いことでも有名だが、それもまた人の生き方を尊重できるオランダ人の高い文化の証である。

私は、人との関係を大切にしているオランダの人々がとても好きで、特に私がオランダを離れるときに担当の教授が「私と君は“友達”だ。いつでもオランダに来なさい。」と言ってくれたことが今でも忘れられない。

この国での学びや、オランダの友人、また他国からの留学生との日々は、今の私を形成するのに必要不可欠なものとなった。今後もこの体験を忘れず自分の技術を磨き続けていきたいと思う。

デザイン専攻（情報デザイン領域）岡田遥
留学期間：2010～2011（学群3～4年次）

07

デルフト工科大学

Delft University of Technology



URL: www.tudelft.nl

住所: Postbus 5, 2600 AA Delft

The Netherlands

連絡調整責任者: 李昇姫

◆芸術系一括募集校

オランダ最古の工科大で 学ぶ最先端のデザイン

デルフト工科大学はオランダ、デルフトにある公立大学です。設立は1842年と古く、工科大学としてオランダ最古の歴史を有しています。教育機関としても世界から高い評価を得ており、ヨーロッパ屈指の名門校にも数えられ、毎年高い意識を持った学生がオランダ国内に留まらず、世界各国から集まっています。

本校からの留学が可能な Industrial Design Engineering (IDE) にも多くの留学生が在籍しています。IDE は大きく Design For Interaction, Strategic Product Design, Integrated Product Design に区分され、それぞれ異なる授業が展開されています。グループワークに重点が置かれ、世界各国の学生と様々な角度から意見を交わし合う良い機会となっています。歴史の古い大学ですが、新しい施設も充実しています。

大学があるデルフトは、首都のアムステルダムからは電車で1時間ほど、ロッテルダムからは電車で15分ほどの場所に位置しています。現在は学生街と言われることも多い街ですが、新旧の教会を中心に可愛らしい建物と運河が広がる街並みは、オランダの美しい原風景とも言えるでしょう。また、画家フェルメールの生誕の地としても知られ、彼が残した絵画「デルフトの眺望」は、その変わらぬ美しさを物語っています。



留学体験談

積極的な発言や行動が成長に繋がる

私がオランダに交換留学を行ったきっかけは、2011年の国際デザイン連合国際会議だった。その後、交換留学でデルフト工科大学に一年間滞在することになった。この夢のような交換留学が実現できたのは、李先生の支援が大きかったの言うまでもないだろう。当時、自分の修士論文の研究で、日本人とオランダ人を対象にする実験計画をたてており、その実験は現地でデータを得る必要があった。そして、私は2012年の8月にオランダに旅立った。

デルフト工科大学は、ヨーロッパ最高、最古の工科大学であり、その中でも主に建築学科、航空宇宙学科、デザイン学科が有名だ。オランダとはいえ、修士課程の授業は全て英語で行われ、先生も学生も英語で話さなければならない。そのおかげで、毎日英語で話す環境に恵まれた。私は実験を行うと同時にデザイン学科の授業にも参加することができたが、ほぼ全ての授業がグループで行われ、学生同士で助け合い、はっきりした役割分担のもとに行われた。初めて授業に参加したときはなかなか意見が言えず、話を聞いて理解することに精一杯だった。少しデルフトの環境に馴染んでからは、ディスカッションでも徐々に発言できるようになり、授業に主体的に参加できている感覚を感じることができた。また、デザインの現場

を大事にすることも授業の大きな特徴だった。例えば、「バスの中で、他人の目に見えない怪我をしている患者が、どう席を他人に譲ってもらうか、あるいは人々がどういう方法でその患者の怪我に気づいて席を譲るか」というインタラクションに関するプロジェクト課題のため、文献調査はもちろん、インタラクションが想定される現場に行って色々な人にインタビューを行った。バスの運転手、手術を受けた患者、リハビリに携わる保護者などを訪れ、バスで席を譲ってもらいたい時、あるいは譲りたい時にどう行動するかについて詳しく聞くことができた。このような取り組みが、実際の状況に近いインタラクションデザインの提案につながったのだろう。大学や学生寮で作業を続ける間に、ヨーロッパやアジアなど色々な国の学生たちと話ができたり、デザイン学科以外の学生とも交流する日々が、毎日を充実させてくれた。このような大切な経験、一年が過ぎた今でも鮮明に記憶に残っている。オランダで経験したように、これからも人との交流を大切にし、色々な人との意見交換の場に自分から参加したいと思う。このような経験が、将来自分の成長につながると信じている。

感性認知脳科学専攻 洪昇基

留学期間: 2012—2013 (博士前期課程 2 年次)

URL: <http://www.kkh.se>

住所: Flaggmansvägen 1

Skeppsholmen, Stockholm Sweden

提携開始: 2007年

連絡調整責任者: 田島直樹

◆芸術系一括募集校

王宮とヨットハーバーを 見ながら通学する伝統校

北欧スウェーデン王国の首都・ストックホルムにあるスウェーデン王立美術大学は、1735年に設立された歴史と伝統のあるスウェーデンの芸術における最高学府です。それ故、そこに通う学生達の芸術に対する意識はとても高く、アーティストとしての誇りと自身に満ち溢れています。

この大学の授業では絵画、版画、彫刻、写真、ビデオ、ガラス工芸、PCを用いた表現等、様々な分野を学ぶ事が出来ます。9月の年度当初に履修申請を行い、自らカリキュラムを組みますが、少人数制でじっくり学べる事が特徴です。各学生には共同のアトリエが与えられ、そこでは様々な分野の学生が混在し、思い思いの制作を行っています。これまで本学からは、洋画・版画・ビジュアルデザイン・総合造形の学生が留学しています。

校舎があるシェップスホルメン島に渡る橋の上からは、両端に王宮とヨットハーバーが見渡せ、毎日美しい景色の中を登校する事になります。歴史のある建造物と洗練されたデザインが融合した街並を見ながらの生活は、創作への刺激とヒントを与えてくれるに違いありません。



留学体験談

多様な文化の中で見つけたもの

スウェーデン王立美術大学は筑波大学と履修制度が異なり、各学期で1~3つ受講できるWorkshopをもとに制作に取り組み、その進捗を毎月末のゼミで共有した。秋学期には、SciLifeLabという生命科学国立研究機関との共同プロジェクトに参加させていただき、芸術の枠組みを超えて多くのインスピレーションを受けた。私は癌細胞の研究とその細胞の観察に用いるマイクロチップのデザイナーの方とペアになり、実際に研究所を訪れ制作を共に進めた。制作期間や手法、表現媒体は定まっていなかったため自ら担当責任者と調整し、展示に至った。これらの経験を通して自分自身でやり抜く力や目標を達成するために正しく周りの人にサポートを申し出る方法を学ぶことができたと思う。学校生活を共にした同級生はデンマーク・スウェーデン・アメリカ・ブラジルなど国際色豊かで、年齢も20代から50代

と多岐に渡った。彼らは様々なバックグラウンドを持ちながらアートに向き合っており、独自のスタイルを大胆に貫く姿からは生涯を通じて制作活動を行うことや自分の意思を強く持つことを学ばせてもらった。また、スウェーデンの余白のある暮らしからは日本では知ることができなかった上手な休み方や自分の癒し方を学んだ。シェアハウスに住んでいたため、休日にはBBQや近くの湖でサウナに入ったり、スウェーデンの美しい自然を存分に味わった。北欧は物価高で生活には節約が必須であったものの、休暇中はヨーロッパを周遊し世界遺産や建築物、美術館を見て回った。そこで目にした光景はかけがえのないものとなり、これからの制作活動や自身の人生の道標になると思っている。

芸術学学位プログラム(総合造形領域) 原 叶夢
留学期間:2022.8 - 2023.6(博士前期課程1年次)

09

ヘルシンキ芸術大学

美術アカデミー

Academy of Fine Arts,

University of The Arts Helsinki

UNIVERSITY
OF THE ARTS
HELSINKI x ACADEMY
OF FINE ARTSURL: <http://www.uniarts.fi/en/kuva>

住所: Elimäenkatu 25 A,

00510 Helsinki, Finland

連絡調整責任者: 田島直樹

◆芸術系一括募集校



自然と調和した フィンランド芸術の 最高機関

北欧フィンランド共和国の首都・ヘルシンキにあるヘルシンキ芸術大学は、Academy of Fine Arts（美術）、Sibelius Academy（音楽）、Theatre Academy（演劇）が、2013年に新たに統合されてできた総合芸術大学です。中でも美術アカデミーは、1848年にデッサン学校として設立され、1939年からのフィンランド美術アカデミー基金による運営を経て1985年に国有化され、フィンランド芸術の最高機関となりました。1993年に公立大学となり、2013年に上記のアカデミーとの統合を経て、現在に至ります。

専門分野はPainting, Printmaking, Sculpture, Time and Space Arts (Moving Image, Site and Situation Specific Art, Photography)に分かれています。各分野のカリキュラムや設備は充実しており、学生がじっくりと学習に取り組める環境が築かれています。自然と都市が美しく融合したヘルシンキの街並は、皆さんの感性を磨いてくれるはずです。



留学体験談

本質を見極める姿勢と他己に寄り添う温かさ

ヘルシンキ芸術大学のPrintmakingコースに、学群4年次の夏から1年間留学しました。アカデミーは非常に小さな学校で、例年25人の正規学生が入学します。留学生は学期ごとに15名程度おり、外国人正規学生も含め学内における外国人は比較的多いため、英語による授業も多数あります。

学生は専攻以外の学科の開設授業も自由に履修することができます。Printmakingコースの学生も、その多くが映像、パブリックアート、3Dモデリングなど、異分野の授業を並行して履修し、多様なメディアを用いて制作をしようという意欲に溢れています。また、国内外からのゲスト講師が頻繁に呼ばれたり、海外に学外演習に行ったりするなど、国際的な視野を広げることもできました。生徒ひとりひとりに対する教員からの指導が

非常に細やかであり、学生がフィードバックを得る機会に恵まれていたため、留学中もモチベーションを維持して活動が続けることができました。私自身は、留学生のグループ展、学内ギャラリーでの個展、ビエンナーレ開催中のヴェネチアでの企画展などに参加し、広くたくさんの方に作品を見てもらうことが出来たことも大きな刺激となりました。

「森を歩く」という授業があるほど、フィンランドの自然は豊かです。一年のうちのほとんどが冬と言っても過言ではありませんが、自然の営みを中心とした現地の人々の暮らしぶりは、「豊かさ」とは何かを再定義させてくれるものでした。

構成専攻（ビジュアルデザイン領域）山ノ井梨紗子
留学期間：2016.08—2017.07（学群3年次）

10

国立工業芸術大学

(パリ工科大学)

École Nationale Supérieure d'Arts et Métiers
(ParisTech)



Laboratoire Conception de
Produits et Innovation

住所: 151 Boulevard de l'Hôpital 75013 Paris

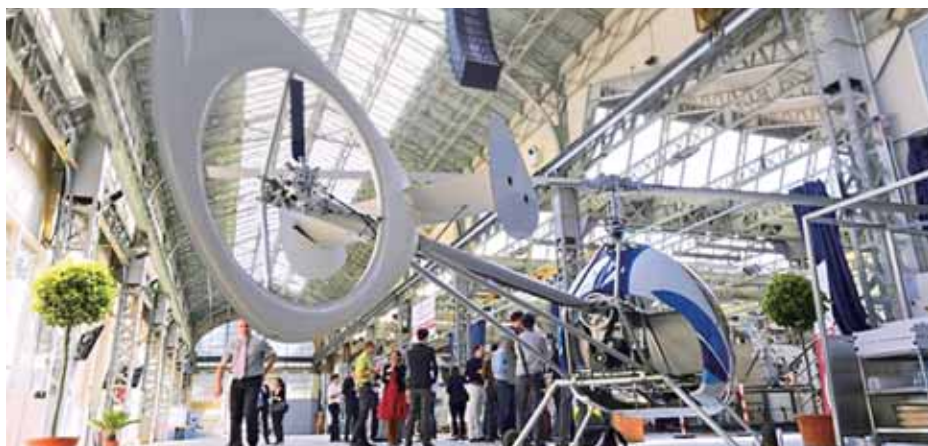
URL: <http://www.ensam.eu/en/>

連絡調整責任者: 大友邦子

◆芸術系一括募集校

感性工学とデザイン研究を 先導するトップ校

国立工業芸術大学 (パリ工科大学) は、1780 年に Duke of La Rochefoucauld-Liancourt に よって設置された歴史ある工科大学で、2007 年 にパリに拠点を置く 12 の理工系大学によってパ リ工科大学グループが設立されたときの設立組 織の一つです。現在では 8 つの教育研究組織と 3 つの研究所を擁し、機械工学、エネルギー工学、 工業工学 (デザイン、企画、管理工学)、におい てフランスの工業発展に大きく寄与している教 育機関です。フランスのトップ 5 大学 (Grandes



Écoles) の一つに数えられる ParisTech の中で、 工業部門ではトップランクに位置する大学であ り、感性工学および関連のデザイン研究領域に おいては、先導的立場にあります。特に本学と の間では、デザイン、デザインマネージメント、 デザイン企画、感性工学、感性科学分野での交 流を行なっています。



11

韓国科学技術院

Korea Advanced Institute of Science and Technology

KAIST

URL: <http://www.kaist.ac.kr>

住所: KAIST 291 Daehak-ro,

Yuseong-gu, Daejeon 305-338

連絡調整責任者: 李昇姫

◆SSC公募型

韓国のデザイン教育を 先導するグローバル大学

KAIST は 100 以上の研究機関が集まる大田市 (テ ジョン市) に位置する国立大学です。KAIST は韓 国における科学技術研究の中心的役割を果たしな がら、様々な学部、カリキュラムを学生に提供し、 QS World University Rankings 39 位 (アジア 11 位) を誇っています。

産業デザイン学科は、韓国理工系教育機関として 初めてのデザイン学科であり、韓国を代表するデ ザイナーを数多く輩出してきました。また Donald A. Norman などの著名人を招聘教授として迎えて



います。韓国のデザイン教育を先導するために、常 に新しい領域を開拓しています。人間中心インタラ クションデザイン、社会貢献デザイン、デザイン経 営、色彩と感性デザイン、メディアアートなど幅広 い分野の研究が行われています。ID KAIST の学生 は Reddot award や IDEA などの世界的なデザイン 賞を受賞しており、2009 年には BusinessWeek 誌 の best 30 design schools に選ばれています。



12

弘益大学 Hongik University



URL: <http://www.hongik.ac.kr/>

住所: Seoul Campus: 94 Wausan-ro, Mapo-gu,

Seoul, 121-791, KoreaSgjong Campus: 2639

Sejong-ro, Jochiwon-eup, Sejong, 339-701

規模: <学部等の数>学部=15、研究科=12、

付属機関=33、付設研究所=28

連絡調整責任者: 鄭 然暎

芸術系担当: 橋本 剛

◆SSC公募型

総合大学へ発展した 韓国随一のデザインスクール

弘益大学校はソウル市麻浦区の地に1946年に開学し、美術学部を中心に順次学部が整備され拡大してきた。1971年に首都工科大学と合併



し総合大学として再編された。以降、経済社会の発展を支える多様な人材を育成してきた。1989年には忠清南道・鳥致院に第二キャンパスを開設し、科学技術と芸術を融合するなど、新しい社会要請に応える改革を重ね、韓国の主要な私立総合大学の一つに数えられている。

都市工学科には、2008年国際交流賞を受賞した朴柄柱名誉教授など、建築学科には李ヨンス教授など、工業デザイン学科には鄭洲鉉教授や下相泰教授など、視覚伝達デザイン学科には安尚秀教授や張同鍊教授など、優れた業績を修めた教授陣が揃っている。

13

国立台湾科技大学 The National Taiwan University of Science



入学案内: <http://www.academic.ntust.edu.tw/ezfiles/1/1001/img/304/100459982.pdf>

デザイン学部: <http://dcollege.ntust.edu.tw/home.php?Lang=en>

連絡調整責任者: 山田協太

◆芸術系一括募集校

台湾でもっとも優れた デザイン教育

台湾において最初に設立されたデザイン分野を含む科学技術系大学。台北にある台湾大学に隣接し、学部学生 5072 名、大学院学生 4172 名、教員(研究者) 368 名を数え、台湾成功大学と並んで、台湾でもっとも優れたデザイン教育を行っている大学です。大学院教育は全国「トップ5」にランクされています。さらに、国際的デザイン賞であるドイツ IF 賞の世界大学ランキングにおいて 2011-2012 年連続で世界トップとなり、同じくドイツのレッドドットデザイン賞においては、2012 年度アジア太平洋の第1位にランクされました。台湾と日本の文化的な結びつきは深く、美意識においても共有する部分が多いです。日本に対する親近感も強いですが、同時に英語によるコミュニケーションも浸透しており、留学先として多くの経験を積むことが可能でしょう。台湾科技大学は特に、構成、デザイン分野および感性認知脳科学において優れた研究者・教育者が在籍しています。



留学体験談

人とのつながりに支えられた一年

私は学部より台湾についての研究を行っており、大学院で筑波大学に進学後は台湾に長期滞在をして調査を進めたいと考えていました。その際に芸術系の中で協定を結んでいる国立台湾科技大学を選びました。最終的にこの大学を選んだ理由は、私の研究テーマが日本統治時代の台湾建築に関連しており、この分野を専門とする先生が同大学の建築系にいらしたためです。

留学中は、建築とウェルビーイングの関係を学ぶ授業や、建築と周囲の環境の関係性を現地観察を通して考える授業を受講しました。後者の授業ではグループごとにテーマを設定し、フィールドワークやディスカッション、プレゼンテーションを行いました。私のグループは「台湾の伝統市場における高齢者の利用に関する課題と改善提案」をテーマとし、現地市場を観察・分析して空間改善の方向性をまとめました。加えて、台湾華語の授業も受講しました。これらの授業は主に英語で行われています。最初は英語でのコミュニケーションに不安もありましたが、先生や学生の皆さんがとても親切に接してくださったおかげで、少しづ

つ慣れていくことができました。さらに、自身の研究分野に関連するゼミにも参加しました。ゼミは中国語でしたが扱う資料の中には日本語のものも含まれていたため、比較的理解しやすく、楽しんで議論に参加することができました。学生の皆さんはとても温かく、ゼミ後に夕食に出かけるなど交流も深まりました。

学外の活動では、近隣の台湾大学のクラブである台湾日本学生交流会に参加し、大学外の他の日本人の留学生や台湾人と交流を深めました。さらに、個人での調査を通して、観光地だけでなく台湾各地のさまざまな場所を訪れる機会にも恵まれました。現地では、台湾で出会った友人や地元の方々の温かい厚意に支えられ、調査をスムーズに進めることができました。

この留学を通して、研究の幅を広げるだけでなく、多くの人との出会いや温かい交流を経験することができました。

世界遺産学学位プログラム 安野花菜

留学期間: 2024.8-2025.7 (博士前期課程2年次)

URL:<http://www.ntua.edu.tw>

住所:新北市板橋区大觀路一段59號

規模:5学部

連絡調整責任者: 菅野智明

◆芸術系一括募集校



キャンパス内外で濃密な 芸術体験ができる名門大学

1955(昭和30)年、国立芸術学校として開校した高い教育・研究レベルを持つ芸術大学です。台湾の芸術界を代表する著名な芸術家を多数輩出しており、国際的には映画監督の侯孝賢(ホウ・シャオシェン)と李安(アン・リー)の母校として知られています。

日本の学部には該当する「学院」には、美術、設計、伝播、表演芸術、人文の5学院があり、それぞれ博士、修士、学部、2年制の課程があります。

学科に該当する「学士班」は、美術学院には美術、書画芸術、彫塑、保存修復の4学系、設計学院には視覚伝達設計、工芸設計、マルチメディア・アニメーションの3学系、伝播学院には、グラフィックコミュニケーション、ラジオ・テレビ、映画の3学系、表演芸術学院には、ドラマ、音楽、中国音楽、ダンスの4学系、計14学系となっています。

博士前期課程に該当する「碩士班」では21、博士後期課程に該当する「博士班」は4つの講座があり、その他、週に数回通学する社会人向けのプログラムも開講されています。

留学体験談

あたたかさに触れた10か月間

高校生の頃から海外留学に興味があり、大学入学後に自身の専門分野である書道を活かして留学したいと思い始め、留学先は中華圏を視野に入れて考えていました。最終的に台湾芸術大学を志望した理由は2つあります。1つ目は、スチューデントコモンズ主催のオンラインイベントを通じて、台湾の大学生と交流したことをきっかけに台湾への興味が増したことです。2つ目は、書道のみならず篆刻や水墨画を学ぶことができることです。

実際に、書道・篆刻・水墨画・表装・日本画・台湾華語の授業に参加しました。実技科目の授業は毎週課題があり、授業時間外に課題に取り組み、授業時に教室の壁や机上に作品を並べて先生から個別指導を受ける形式です。課題への添削以外の時間は、先生の実演を見学する時間でした。教室の前方には大型モニター、天井にはカメラやプロジェクターが設置されているため、それらを用いて先生の手元や作品が大画面に投影され、筆遣いや色遣いを見て学ぶことが出来ます。台湾華語の授業では、中国語とは異なる台湾ならではの表現を学んだり、中華圏の年中行事を体験したり、様々な国籍の留学生と交流しながら言語や文化への理解を深めました。

大学には交換留学生のみならず外国籍正規留学生が数多く在籍しているため、留学生向けのイベントが頻繁に開催され、1学期に1回は観光バスで日帰り旅行に行ったり、クリスマスパーティー

をしたり、帰国・卒業の時期には送別会がありました。私自身、台湾に訪れたのは初めてで不安はありましたが、イベントのおかげで台湾での生活に馴染みやすかったです。また、台湾には日本のコンビニや飲食チェーン店が数多く進出しており、大学内にもセブンイレブンとモスバーガーがあります。その他、大学内にはバイキング形式の食堂やドリンクショップ、大学付近には夜市もあります。物価が安く、外食が盛んな台湾ですが、毎日外食だと食費がかさむため自炊もしていました。留学費用面では、筑波大学海外留学支援事業「はばたけ!筑大生」に採用していただき、毎月6万円を支給していただきました。生活費としては、家賃(宿舍)は年9万円、食費は月1-2万円程度でした。

10か月間の留学生生活を通じて、台湾はとてまあたかい国だと感じました。気候的な暖かさもありますが、何より人があたたかいです。街に出てみると、若者から年配の方まで手を繋いで仲睦まじげに歩いている夫婦が多いのが印象的でした。また、「台湾で困ったことがあったらいつでも何でも相談してね」と色んな人から言ってもらえて、実際にたくさんサポートしてもらって、伸び伸びと過ごすことが出来ました。

芸術専門学群(書領域) 成瀬真生

留学期間: 2022.09—2023.06(学群3年次)

15

ホーチミン市美術大学

Ho Chi Minh City University of Fine Arts



URL: <http://www.hcmufa.edu.vn>

住所: 5, Phan Luu Street, Binh Thanh

District, Ho Chi Minh City

連絡調整責任者: 武田一文

◆芸術系一括募集校

創立 100 年を迎えた ベトナム美術最高教育機関

ホーチミン市美術大学は、ベトナム社会主義共和国でもっとも長い歴史と伝統を有する美術の総合大学です。1913年に前身のジア・デン絵画学校として設立されてから百年以上になり、2013年には開学百周年を記念する盛大な式典が行われました。

2014年3月には部局間交流協定の締結を記念



する事業として、本学で人間総合科学研究科主催の「ホーチミン市美術大学・公開学術講演会」が開催され、交流活動も本格化しました。

絵画、彫塑、グラフィック、美術史、美術理論、美術教育などの専門領域を有し、学部と大学院修士課程から成り、学生数は学部と大学院あわせて550名にのぼります。ベトナム社会主義共和国を

代表する高度な美術の教育研究機関であり、国を代表する多くの専門的人材が輩出しています。

筑波大学が国際交流の上で重要課題の一つとしている、「本学のホーチミン事務所を拠点とする東南アジア諸国の大学・研究機関とのネットワークの構築および国際連携の推進」の一翼を担う大学でもあります。

16

中央美術学院

China Central Academy of Fine Arts



URL: <http://www.cafa.edu.cn/>

住所: No.8 Hua Jia Di Nan St.,

Chao Yang District, Beijing

規模: 造形学院、設計学院、建築学院

など8学院(学部)

連絡調整責任者: 小山慎一

◆芸術系一括募集校

中国芸術の最高峰

中国の首都北京にある中央美術学院は、1950年に中央人民政府教育部によって設立された中国初の国立芸術大学であり、美術分野で国内トップの地位を誇る、中国で最も権威ある芸術大学です。8つの学部と26の専攻を有しており、デザイン分野や芸術学理論分野でも高い評価を得ています。歴代院長である徐悲鴻は、中国現代美術の創始者と謳われる著名な画家であり、現設計学院副



教授の林存珍は2022年冬季オリンピック・パラリンピックエンブレムのデザインを手掛けました。また、建築学院程启明教授は1996年の本学修了生です。そのほか、中国モダンアートの先駆者である陳丹青など、中国を代表する著名な芸術家が多く輩出しています。学内に磯崎新設計の美術館をもち、明・清時代の芸術家によって描かれた中国画卷を2,000本以上所蔵しています。その他、教

員・学生・国内外の芸術家による展示を常時行なっています。また、北京市内では展覧会が年間を通して数多く開催されており、芸術を学ぶには恵まれた環境があります。中央美術学院は芸術大学として設立されたものの、人文学部をもち、歴史・言語・マネジメント等の研究も盛んに行なわれています。総合大学である本学との共通点も多く、今後の活発な学術研究交流が期待されています。

URL: <http://www.caa.edu.cn/index.html>

住所: 浙江省杭州市南山路218号

規模: 造型艺术学院(美術学部)、

設計艺术学院(デザイン学部)など11学院(学部)

連絡調整責任者: 菅野智明

◆芸術系一括募集校



中国の芸術界を代表する 著名な人材が多数輩出

中国でもっとも永い伝統を誇る美術総合大学であり、研究・教育のレベルもきわめて高く、北京の中央美术学院と双璧をなす機関となっています。「継承」「融合」「創新」の三理念をかね、美術・デザインを中心とする芸術の諸分野で多くの実績を挙げており、中国の芸術界を代表する著名な人材が多数輩出しています。

カリキュラムは、数週間にわたる集中講義を重ねる方式を採用しています。時間配分に弾力性が求められる演習や実技においては特に効果をあげており、また、附属の設備・機構も充実し、独自に美術館・出版社を擁しています。これらは学内の成果の公表に利用されるのみならず、中国における斯界第一級の成果を披露する受け皿としても機能しています。

留学体験談

新鮮な大学環境と深遠な歴史文化のもとでの美と学の追求

授業体系は日本の大学とは大きく異なります。日本の大学が、一時限、二時限…と細かく分け、それらが半期もしくは通年続くのに対し、中国では、一日の授業が午前、午後に分かれておらず、更に同一の授業を二週間から一ヶ月ほど集中的に行います。つまり単一のテーマの授業を毎日実施し、それが終わると別のテーマに移るという形式です。テーマが一つであるため、他のことにとらわれずに集中でき、実技などは反復練習することでしっかり身につけることができます。

私は書を専攻していますが、日本では授業のなかった「中国美術史」や「山水画」、「篆刻」などといった科目も開講されており、書だけでなく中国画や篆刻も幅広く学べるカリキュラムになっています。

授業は基本的に午前中のみで、午後は授業の課題を行うほかは自由に時間を使えます。私は博士論文の執筆中でしたので、論文に関連する文献を読み、よくわからない箇所や疑問に思った点を授業の際に先生へ聞いていました。先生方は質問に丁寧に教えてくださるだけでなく、独自

の解釈を提示してくださったり、参考となる本やWebサイトも紹介してくださったので、大変、勉強になりました。

杭州は風光明媚な観光名所として知られますが、近年、開発の著しい文化の中心地でもあるため、非常に多くの博物館や美術館が点在します。学内にも三階建ての立派な美術館があり、教員や学生の個展やグループ展を開催したり、大学関係者の収蔵品を展示したりと様々な展示が頻繁に開催され、美術にふれる機会は日本よりも多かったように思います。

また中国の博物館は、現在ほとんどが無料で観覧することができ(一部の企画展は有料)、そのうえ館内の写真撮影は基本的には許されているため、私は時間があれば美術館や博物館に通い、多くの写真を撮影しました。それらの写真は現在、大学や高校の講義に用いることもあり、留学における貴重な財産の一つです。

芸術専攻(書領域) 高橋佑太

留学期間: 2009 - 2011 (博士後期課程 2 年次)

18

ユタ州立大学

Utah State University



URL: <https://www.usu.edu/>

住所: Old Main Hill Logan, UT 84322 USA

提携開始: 2016年

連絡調整責任者: McLeod Gary Roderic

◆芸術系一括募集校



農業大学から発展した リサーチユニバーシティ

ユタ州立大学は、1888年に農業大学として設置され、1957年に総合大学のユタ州立大学として創立されました。自然公園に囲まれた160ヘクタールの美しいキャンパスの環境は抜群です。メインキャンパスのあるローガン市はアメリカで最も治安の良い自治体のひとつです。

Caine College of the Arts には、アート・デザイン学部、音楽学部、劇場芸術学部があり、アート・デザイン学部は、芸術教育、美術史、陶芸、絵画、グラフィックデザイン、インテリアデザイン、写真、版画、彫刻の領域で構成されています。地の利を活かしたアウトドアプロダクトデザイン学科、ランドスケープアーキテクチャ学科が農学部が存在していることもユニークです。

現場で活躍するゲスト・レクチャーや、ゲスト・クリティークも頻りにキャンパスを訪れ、オープンで活気のある授業が展開されています。キャンパスからアクセスできるハイキングトレイルも多く、たくさんの学生が周辺の自然からインスピレーションを得ながら創作に動んでいます。

留学体験談

「あたりまえ」を見つめ直し、広がる視界

Utah State University (以下、USU) は、アメリカの中でも特に治安が良いとされるユタ州にある州立大学です。USUの環境は筑波大学と似ていて、総合大学であり、大自然の中に大学があります。私はここで、約9ヶ月間グラフィックデザインと英語を勉強しました。

もし、海外で芸術を学びたいけれど語学力が心配、という方でも、USUなら大丈夫です。USUでは、留学生を対象とした英語プログラムがあり、授業として単位を取ることができます。私は、前期をこの英語プログラムをメインに取り、苦手な英語を集中的に勉強しました。後期は、自身の専攻のグラフィックデザインの授業を中心に履修しました。また、総合大学なので、希望すれば芸術以外の授業も取ることができます。自分のレベル・興味に合わせて授業を組むことができるのがUSUの特徴だと思います。

また、授業の雰囲気が日本とは異なり、とても刺激を受けました。USUの芸術の授業では、概論であろうと演習であろうと、常に学生同士でディスカッションを行います。日本の授業では、先生が話し、それを学生が黙って聞いて勉強する、というのが一般的です。しかし、アメリカの授業で

は、先生が話している最中でも手を上げて積極的に質問をしたり、講評会の際は、先生だけでなくクラスメートも互いに意見をぶつけ合うという授業の形が印象的でした。思ったことを直接相手に伝え、発言をすることで考えを深めていく授業の方法はとても新鮮であり、積極的に取り組むことの大切さを知りました。

また、授業以外に、住む環境もとても素晴らしかったです。冒頭でも述べた通り、ユタ州は治安が良く、大学内と大学周辺では危険な雰囲気などは感じられませんでした。また、ユタ州には5つもの国立公園があり、キャンパスやハイキングをしながら壮大な自然を体感することができます。

日本で「あたりまえ」のことは海外では「あたりまえ」では無く、海外で暮らすことは自身の思考の幅を広げることができます。住み慣れた環境を離れ、言語も文化も異なる環境へ移ることは自分を客観的に見つめ直すとてもいい機会でした。大学生の時に、この貴重な経験をするのができて本当に良かったと思います。

構成専攻（ビジュアルデザイン領域）加来未咲
留学期間：2016.08—2017.06（学群3年次）

19

ディーキン大学 Deakin University



DEAKIN
UNIVERSITY AUSTRALIA

住所: 221 Burwood Highway, Burwood Victoria 3125, Australia

URL: <http://www.deakin.edu.au/>

連絡調整責任者: 下田一太

◆SSC公募型

文化遺産・博物館学の専門コースを有する大学

ディーキン大学は、1974年に設立された州立大学で、キャンパスはオーストラリアのビクトリア州メルボルン郊外にある。芸術関連分野では、芸術教育学部、環境建築工学部などがあり、とくに文化遺産・博物館学専攻は、文化遺産のサイトマネジメントから博物館における保存まで幅広いコースを提供している。筑波大学とは自然保護寄附講座における協力をきっかけに、2015年に大学間協定を締結し、世界遺産および海洋科学における研究協力を行っている。



Campus-in-Campus (CiC) 協定校との交流

Campus-in-Campus (CiC) 構想とは、CiC協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、国境や機関の壁を越えたトランスボーダーな教育研究交流を実現するための取組です。

筑波大学のキャンパスを海外パートナー大学の中に創り出し、海外パートナー大学のキャンパスを筑波大学の中に創り出すことで、学生・教職員が世界の大学をホームキャンパスとして自由に活動できるようにすることを目指しています。

詳細は以下のQRコードよりウェブページにアクセスしてください。





国際交流



Международен обмен

Internationale uitwisseling



Intercambio internacional



Internationaler Austausch



Scambio internazionale